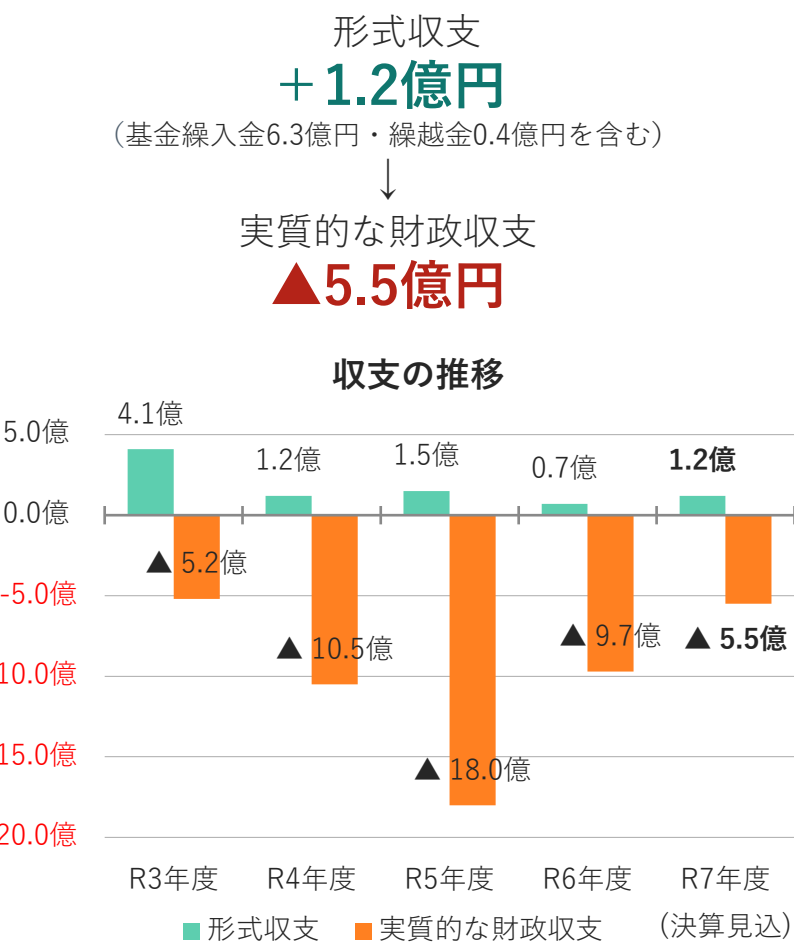




令和 7 年度の実質的な財政収支(実質赤字)は5.5億円で、前年度から4.2億円改善した。令和 7 年度決算見込を反映した将来推計でも、毎年度7,000円の段階的改定を前提とする現行計画は維持可能であり、引き続き実質赤字の解消と標準保険料との乖離縮小を進める。

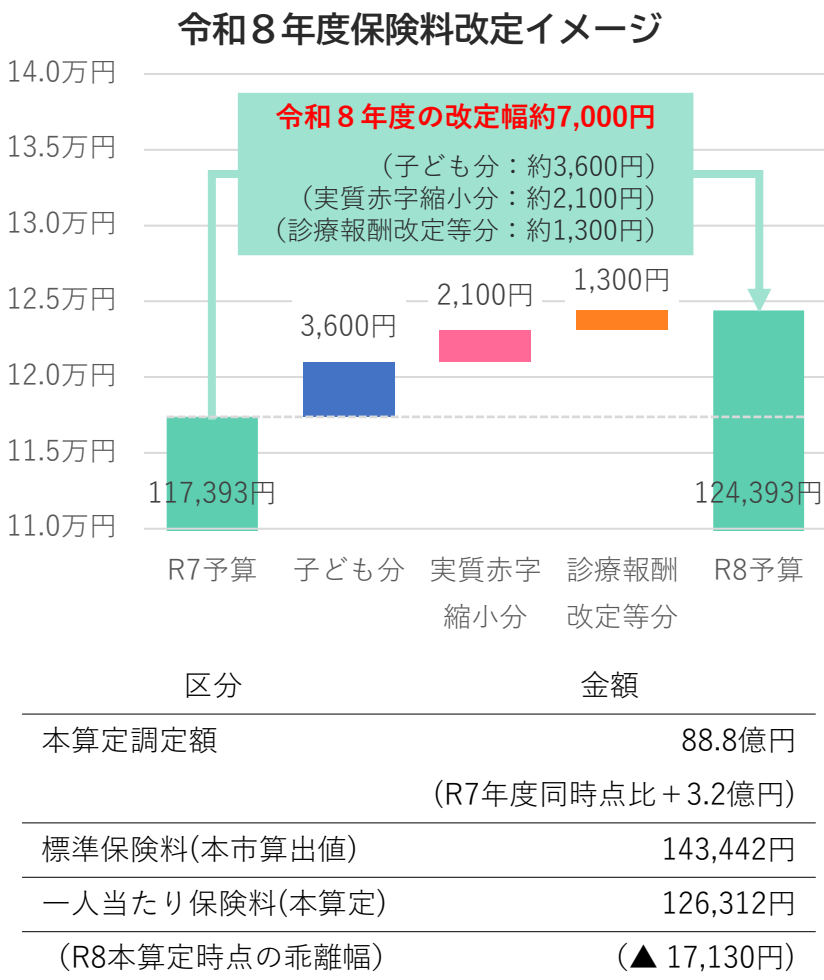
1. 令和 7 年度 国保会計決算見込等【資料 2 p2～】

実質的な財政収支はR6年度比で4.2億円改善



2. 令和 8 年度 本算定の状況【資料 2 p9～】

本算定時点の標準保険料との乖離幅は17,130円



3. 粗い将来推計の更新【資料 2 p15～】

R7決算見込等を反映して更新したが、将来推計の基本的な見通しに大きな変更はない

実質赤字額の更新結果

区分	R8年度	R12年度
更新前	896,385千円	124,608千円
更新後	896,385千円	121,997千円

⇒ R12実質赤字額は更新前後で概ね同水準

その他の更新結果

- 1. 毎年度7,000円改定の前提を維持可能
- 2. 一般財源による基金積立額は、R5～R11年度の7年間で合計43.5億円を維持可能

現行指針に基づく段階的な保険料改定を継続し、実質赤字の解消及び標準保険料との乖離縮小を進める。